

施策評価シート（令和5年度実績）

施策名 18 地域特性を生かした都市づくりを進める

施策コード

030018

1. 施策の体系と担当課		
第5次総合計画	将来像	3 みんなでつくる 安全・安心で快適に暮らせるまち
主管課	都市整備部 都市計画課	
関係課	総合政策部 政策推進課, 都市整備部 道路整備課, 都市整備部 まちづくり課, 都市整備部 用地課, 都市整備部 公園緑地課	

2. 施策の目標	
10年後の目標	
<p>時代の潮流に合わせた柔軟な土地利用が行われ、地域特性を生かしたコンパクトなまちづくりや、交通ネットワークの形成等により、利便性が高く、良質な市街地が形成されています。</p> <p>地域特性を生かした鉄道やバスなどの公共交通が整備され、居住者、来訪者ともに利便性が向上し、暮らしやすく、訪れやすい環境が整っています。</p>	
10年後の目標に向かっての主な取組み	
市の取組み	
<p>○高齢化・人口減少社会において持続可能なまちを形成するため、将来都市像のマスタープランとなる立地適正化計画などの策定に取り組みます。</p> <p>○公共交通の活性化のため、水間鉄道を基軸とした公共交通網を形成します。</p> <p>○鉄道駅の周辺地域に都市機能を誘導し、コンパクトで機能的なまちづくりを行います。</p> <p>○市街化区域内において、適正な公共施設（道路、公園、広場等の公共空地等）や給排水設備等が整備された良質な市街地の形成に取り組みます。</p> <p>○「せんごくの杜」の利活用を進めるため、道路の整備を促進するなど利便性の向上を図ります。</p> <p>○住宅密集市街地における空閑地や空き家等の現状把握と有効活用に取り組みます。</p> <p>○利用者のニーズ等を踏まえながら、利用しやすいコミュニティバスの運行とともに、利用案内や運行状況の表示など利用者にわかりやすい情報提供に努めます。</p> <p>○市内の主要施設間のアクセス向上や駅及び駅周辺のバリアフリー化に取り組みます。</p> <p>○沿線町会・自治会、企業等と連携して、水間鉄道の利用促進に努めます。</p>	
市民・団体・事業所等の取組み	
<p>○行政との協働により、地域の課題などを共有した上で、地域の実情に即したまちづくりに協力します。</p> <p>○地域の貴重な交通手段を確保するため、公共交通機関を積極的に利用します。</p> <p>○交通事業者は、利用者の利便性向上や施設のバリアフリー化に努めます。</p>	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
<p>少子高齢化による人口減少が進む中、鉄道駅周辺への生活サービス機能の集積や居住の誘導等によるコンパクトなまちづくりの検討が必要となっている。</p> <p>本市公共交通の中央基軸である水間鉄道では、コロナ禍により令和2年度の利用者数は大きく減少し、令和4年度には利用者数が戻ってきているものの依然減少傾向となっている。また、公共交通に対するニーズも多様化し、利便性の向上と運行維持が大きな課題である。</p>	
新たな市民ニーズ	
<p>市民生活に利便性を高める住居表示のニーズが増えてきている。</p> <p>都市計画道路泉州山手線の事業着手により、沿道周辺における新たなまちづくりへの期待が高まっている。</p>	

4. 施策にかかるコスト										
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		R4予算	R4決算	R5予算	R5決算	R6予算	
		会計年度任用職員数				17.92	2.99		20.41	3.0
	人件費	直接人件費	千円			130,061			154,865	
		間接人件費				15,437			21,389	
	直接事業費			317,627	573,706	672,538	574,222	169,335		
	間接事業費				2,784		7,142			
フルコスト				721,988		757,618				
財源内訳	使用料及び手数料			4,005	2,799	307	400	305		
	国庫支出金		52,506	51,450	20,200	72,735	25,762			
	府支出金		6,720	21,014	68,286	12,306	0			
	市債		178,200	205,600	387,500	311,800	0			
	その他		6,854	10,956	75,204	70,479	3,162			
	一般財源1（＝フルコスト －特定財源）			430,169		289,898				
	一般財源2（＝直接事業費 －特定財源）		69,342	281,887	121,041	106,502	140,106			
備考										

5. 施策の成果指標							
成果指標1		景観計画策定の進捗					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
%	令和6年度	100	維持		50	50	0
成果指標2		工事発注件数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件	令和5年度	5	増加		5	0	0
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和5年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性	所見	
				人件費						
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込)			
せんごくの杜整備管理事業 (公園)	活用・整備を行ったエリア数			141,448	117,385	20,703	19,291	成果	B：現状維持	里山に関しては民間ボランティアと連携し取組んでいる。未売却(貸付)地の解消が喫緊の課題である。
	R5実績	0	エリア	20,123	19,637	4,042	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			-						
東貝塚駅前広場アクセス道路等整備事業 (道路)	工事発注件数			154,211	191,060	285,412	0	成果	D：廃止・終了	JR西日本による駅のバリアフリー化、及び市による駅前広場の整備が完成した事により市民の交通利便性が向上した。
	R5実績	5	件	1,885	10,373	15,446	0	資源配分	D：廃止・終了	
	最終目標値に対する達成率			-						
港湾・海岸関連事業 (都計)	体験航海乗船応募者数			718	1,222	1,259	1,489	成果	B：現状維持	海事思想の普及には体験航海は絶好の機会である。海上保安庁も同一見解であり、体験航海実施に向けた協議を進めてほしい。
	R5実績	0	人	3,907	3,925	7,243	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			-						
都市計画事業 (都計)	地区計画の届出書受理・審査件数			2,244	1,336	3,821	12,758	成果	A：向上を図る	開発から相当期間を経過した地区内の住民に地区計画制度が認知されていない事例が見られるため、制度について啓発していく必要がある。
	R5実績	55	件	6,870	3,475	9,851	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			91.7%						
バリアフリー化整備推進事業 (都計)				43,784	158,818	173,521	0	成果	評価対象外	
	R5実績			5,063	1,552	5,138	0	資源配分		
	最終目標値に対する達成率									
公共交通活性化再生総合事業 (都計)	貝塚市地域公共交通網形成計画の進捗割合			2,005	20,195	15,042	17,270	成果	A：向上を図る	現行の交通網形成計画が目標年次を迎えたため、新たな交通計画を策定する。今後は様々な交通モードを検証し、地域の交通課題に取組む必要がある。
	R5実績	100	%	3,446	4,972	18,171	0	資源配分	A：資源を拡大	
	最終目標値に対する達成率			-						
橋本地区まちづくり事業 (都計)	地元住民及び地権者との会議回数			11,550	18,485	19,920	55,184	成果	A：向上を図る	土地区画整理事業の実施に向け、今まで以上に地権者の機運の醸成や理解を深めるための研修・会議を役員・事業化検討パートナーと連携して進める必要がある。
	R5実績	7	回	5,686	4,421	18,755	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			-						
鉄道軌道安全輸送設備等整備事業 (都計)	実績			58,333	45,000	33,625	0	成果	評価対象外	
	最終目標値に対する達成率			2,565	1,205	1,613	0	資源配分		
景観行政団体移行事業 (都計)	貝塚市景観計画策定の進捗			0	0	6,448	0	成果	B：現状維持	本市の豊かな景観資源を保全・活用するため景観計画を策定し、市民の方の地元への愛着や誇りを醸成するとともに、交流人口増加による賑わいの創出や地域の活性化を図る。
	R5実績	50	%	0	0	8,096	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			50.0%						
開発指導事業 (まち)	実績			129	100	99	137	成果	評価対象外	
	最終目標値に対する達成率			23,280	22,448	27,302	0	資源配分		

用地境界確定事業 (用地)	占用許可件数			665	686	1,900	2,616	成果	B：現状維持	官民の用地境界を確定することにより適正な占用が行なわれるため、今後においても用地の境界確定を進める。
	R5実績	667	件	13,236	14,867	15,570	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		-							
住居表示整備事業 (用地)	住居表示新規実施区域面積			6,097	4,057	10,749	17,847	成果	B：現状維持	住居表示の実施には地域の理解が不可欠であり、今後も計画スケジュールに沿った住居表示を進めるため、丁寧な説明に努める。
	R5実績	16.8	ha	13,973	12,209	14,241	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		56.0%							
町・字の区域の新設・廃止・変更事務 (用地)	土地所有者事前調査			0	0	0	0	成果	評価対象外	
	R5実績			1,099	1,037	1,091	0	資源配分		
	最終目標値に対する達成率									
府道水間和泉橋本停車場線整備促進支援事業 (用地)	土地所有者事前調査			0	0	0	0	成果	簡易評価	
	R5実績	0.25		0	0	23,848	0	資源配分		
	最終目標値に対する達成率		-							
泉州山手線整備促進支援事業 (用地)	土地所有者事前調査			11,702	8,353	1,723	0	成果	評価対象外	
	R5実績			26,698	24,996	5,847	0	資源配分		
	最終目標値に対する達成率									

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	新型コロナウイルスの影響により実施できない事業があったものの、その他の事業についてはおおむね達成している。
構成事務事業に課題はないか	特になし。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	特になし。

8. 今後の方向性	
担当部長の所見	人口減少・少子高齢社会においても持続可能な都市運営のため、立地適正化計画や地域公共交通計画などに沿ったまちづくりを進める。
担当副市長の意見	都市計画マスタープラン、立地適正化計画、地域公共交通計画に沿ったまちづくりを進める。とりわけ、安全・安心で便利な地域公共交通の提供をめざしたオンデマンド交通、新たな定時定路線バスの試行運行を実施するとともに、JR和泉橋本駅山側地区の区画整理事業や貝塚駅周辺のまちづくりを進めていく。